

地域支えあうまちづくり懇談会 アンケート結果

【2018.8.6（月）下田まちづくりセンター】

問1 ご参加いただいたあなたの役職は。

①区・まちづくり協議会	12人
②民生委員児童委員	3人
③健康推進員	1人
④各種団体役員	—
⑤市民	1人
⑥市内事業所	2人
⑦その他	2人
計	21人

問2 懇談会に参加しての感想や今後、地域で支えあうまちづくりを推進していくうえで必要なことをお書きください。

- ・地域のネットワークを支えるのは女性の力が大きいと思います。女性の区長やまち協のリーダーをどんどん選出する必要がある。男性が足を引っ張らないように教育を進める。そのような勉強会を実施。
- ・グループワークの内容は良いことが出ているが、実践をどうするかが問題。以前から出ている内容であるが、なぜ進まないのかを考えることが大事。できることから前進すべきと思う。
- ・地域住民全員が自治会に加入すること。自治会費は、年齢や障がい者へは別途検討するなど。
- ・各区での活動をどうされているのか。会話させていただき、区との違いがあることを理解できました。今後良い方向にいくように対応していただきます。
- ・今後、具体的に活動したい。
- ・まちづくりの推進にかかる行政支援の確立（支援金も含めて）を実施していただきたい。
- ・各まち協の人だけでは無理であり、市からの支援者が必要だと思う。
- ・5年、10年先には自分たちも支えあわなければならない。
- ・これからの高齢化、多様化、外国人を含む異文化時代の地域において、それぞれの立場を尊重しての支えあいがますます必要であると考えます。地域で活躍する「人」を育て、拡充することが必要である。
- ・いろいろな立場で参加されている中で、意見を話し合えることは良い。
- ・元気な高齢者、社会の一員であることが認識できれば元気につながると考えます。何ら

かの形で今までの経験が活かされれば良い。

- ・避難場所の環境（弱者の立場であるか？）
- ・人（スタッフ・リーダー）、物（建物）、金（補助金・運営費）が課題となる。
- ・情報を伝達しあえる環境づくり（連携）
- ・地域で支えあうには、生活支援が一番大切なように思います。老後は買い物や病院などの移動手段（交通）が困難になってくる。
- ・下田での「ちょこっと手伝い」もこれからお願いする人が増えてくると思います。協力者の問題等、何を実行するにも人材（スタッフ）と財源の問題が重要だと思います。
- ・守秘義務も必要であるが、情報提供がなければ分からないことも多くあり、地域を支えることができないことも多くある。行政との信頼関係を保てるようになれば良いと思う。
- ・もっとこういう事を進めていただきたいと感じました。
- ・いろいろな意見が飛び交う中で、人の人とのつながり、お金の問題。区、グリーンサロン、脳トレなどいろいろな努力されていますが、個人情報や責任問題のこともあり。難しいと思います。
- ・いろんな行事に参加し、みんなとコミュニケーションをとり、必要とするものをつかんでいきたいと思います。
- ・いろんな意見が出てよかったとは思いますが、時間を割いてみんなで話したことを、それぞれの役割で解決していければと思います。
- ・たくさんの事業を立ち上げるのではなく、地域の人が自発性をもった事業をサポートしてもらえよう、まずは行政の縦割りを越えてください。それが絶対不可欠であり、それができて初めて地域が動きます。
- ・下田エリアの旧と新の差がありながら、動かす力をもっている人たちがたくさんいることを感じました。
- ・朝来町のような向こう三軒両隣のような個を通じて解決できるところも挙げながら、このような役付けの方々の集まりで、どのように取り組んでいけるかを話し合っていくしくみを作り、地域課題の解決に向けた地域づくり、人材育成を仕組んでいけないかな？と思いました。
- ・生活支援コーディネーターの役割は大きく、担う人（社協）が大切。
- ・まず地域でつながりを作っていくことが大切。あの人はあの人とつながっている！という1人でもつながりがある人がいることが大切。事業があってもつながりがなければ、参加や利用もできない。つながっている人から勧めてもらいたいのではないかなと思う。
- ・地域の資源の把握が不十分と感じた。